

4月18日(火)開催した説明会の主な意見

Q1：建設候補地については決定ということか。

A1：さまざまな観点から慎重に検討し、町として今回の1カ所を最終候補地に選定しました。

Q2：場所については中心市街地がいいという声もあるので、町民の声をよく反映していただきたい。

A2：役場庁舎については、将来的なことを考えた場合、防災機能を十分に確保する必要があるため今回の候補地を選定させていただきましたので、ご理解をお願いします。

Q3：候補地の土盛りと安全性の問題についてはどうか。

また、新庁舎建設後も多目的研修集会施設で実施していた一般的な会議はこれまでどおりということか。

A3：詳細については今後の測量などの結果を踏まえ検討してまいります。

また会議などについては、役場に関連するものは役場で、会議の種類によってはこれまでどおり多目的研修集会施設などでの開催となるものと考えています。

Q4：建設候補地について町民が意見を言える機会、参加できる機会をもっと作っていただきたい。

A4：建設候補地については、複数カ所の候補地の中から決定となるとなかなか決まらないためご理解をお願いします。

なお、新庁舎の建設にあたっては、機能などについて町民の皆さんからご意見をいただき検討してまいります。

Q5：人口減少と中心部の空洞化の観点から今回の候補地は少し遠方に感じる。

A5：中心市街地の活性化については、新庁舎とは別にいろいろな施策を考えてまいります。

Q6：候補地はボーリングをして水は出るのか。

水道はインフラとして重要であるが、災害のときに町の水道は基本的に止まってしまうので、井戸水などの整備なども必要ではないか。

A6：基本的には上水道の水を活用する予定であり、ボーリングをして地下水を活用する予定は現時点では考えていません。基本計画において雨水貯留施設などの設置を検討することにしていきます。

Q7：本町地区から小野インターへ抜ける道路は冬期間の凍結の問題や道幅の問題もあると思うが、どのように考えているか。

A7：対策については今後検討してまいります。